

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 ☎763-5110
 会長 成田良治
 幹事 鷺野義明
 会報委員長 杉浦比左夫

No. 18

ロータリーを高めよ!

思いを尽くし熱意を尽くし!

1990~91年度 RI会長 ハウロ V.C. コスタ

第408回例会 平成2年11月6日(火)晴

- ◇ “君が代”
- ◇ “我等の生業”
- ◇ 出席報告
 会員 68名 出席 50名
 出席率 73.53 %
 前回 10月30日 (修正出席率) 95.59 %
- ◇ ビジター紹介 7名
- ◇ お誕生日祝福
 北野夫人(11/7)、鈴木(理)君(11/7)
- ◇ ニコボックス
 水野 民也君、菅原 宣彦君 久し振りにホームクラブに出席したおわび。
 谷口 暢宏君 申し訳ありません。早退します。
 北野 寿三郎君 夫人誕生日祝い。
 鈴木 理之君 誕生日祝い。
 木全 昭二君、上野 保君 結婚記念日祝い。
- ◇ 鷺野幹事報告
 1. 11月20日(火)午後6時より松楓閣にて開催のインフォーマル・ディスカッション・ミーティングの出欠席をまだ出されていない方は、至急事務局までご連絡下さい。
- ◇ バナー紹介
 台北信義RC 水野 民也君
 札幌手稲RC “
 天童東RC “
 松江東RC 菅原 宣彦君
 FORT LAUDERDALE RC “

◇ 成田会長挨拶

10月30日政府税制調査会が、「土地税制のあり方についての基本答申」をまとめ首相に提出した。答申の骨子は土地の高騰に対する歯止めというか、むしろ値下げをねらったものとして、新土地保有税の創設を明記したものです。この答申は3部から成っており第一は、“土地問題への新たな取り組み”であります。

これは地価高騰に対する対策としての土地

税制の見直しである

第二は“土地税制のあり方についての基本的な考え方”としては、土地というものは国民共通の限られた貴重な資源であるから、公共性をもっているものである。従って私的に保有譲渡又は取得する場合には、今以上の税を負担するべきだという事であります。

そして第三としては、“土地税制の具体的な在り方”として所以、新土地保有税を主とした土地の増税であります。

ここで、この政府税調の答申がこれから先何等の変更がなく、法案として通ったなら今よりはましな地価にはなるかも知れないが、途中において総論賛成、各論反対となって骨抜き法律として制定されたなら、結果として国が増税するための理屈づけに外ならなくなります。

それは過去の税制で明らかであります。私は、土地税制だけで土地の価格が値下がりするとは思われないのであります。資本主義の原則からすれば、原価の高いものは売る時も高いのであります。地価を下げる為には、総合的な見地から取り組んでもらいたいものであります。

これから先も夢々地価の高騰のないことを願うものであります。

~~~~~ | M 報告 ~~~~~

於 10/15(月) ホテルナゴヤキャッスル

### ◇ 和田副幹事報告



昨年度まで、I.G.Fとして分區別にフォーラムを行ってまいりましたが、日本国内のロータリアンからの意見で“手続要員”から消えているI.G.F.をそのまま踏襲するのはおかしいのでは……ということでもI.M(都市連合会)への名称が変更されることになり、第一回フォーラムに出席させていただきました。

中村繁男ガバナーより、古いものと新しいものを混ぜ合わせて、伝統を重んじつつ、新しいロータリーを作り出したいとの希望があり、今回50才未満のロータリアンをパネリストに、“ロータリーを高めよう”のテーマのもとに行いました。参加は、名古屋北ロータリーを始めとして7 RCでした。

第一回目の打合せの時には、かなり本音の話が出ていましたが、当日I.Mでは、実にすばらしいロータリアンとして、理想的な発表に変わっていたには、おどろかされました。

今回I.Mに参加出来ましたことで、あらためてロータリーとは…と考えるよい時間を与えて下さいましたことに感謝いたします。

~~~~~社会奉仕委員長会議報告~~~~~

於 9/28(金) 名鉄岡崎ホテル

◇小坂井社会奉仕委員長報告



平成2年9月18日岡崎の名鉄岡崎ホテルでR.I第276地区の社会奉仕委員長会議が行われ、鷲野幹事と出席致しました。ゲストスピーカーの北野康博士の「人間活動と地球温暖化」のテーマで大変高度な、又ご熱心なお話を伺い、出席者一同、感銘深く、又事の重大性をあらためて認識させて頂きました。

貝と水が専門とおっしゃる先生のお話は大変高度でいささか難解な点もありましたが、徐々に講義を受ける学生の気分を味う事が出来ました。

最後にガバナーより環境保全委員会の様な形で是非社会奉仕委員会が中心となってやって頂きたいとの要望がありました。これに対しては当クラブでは社会奉仕委員会がこれを代行すると云う事になりました。大へん大きなテーマでご座居しますので、当クラブでは会員一人一人が期中に一本づつ植樹を行うと云う事を実行をしたいと云う事に前理事会での会長のお話してご座居しました。

◇ガバナーズ・レターより

ロータリーエッセイ III

100%出席のこと

名古屋和合RC

井澤 慶一

去る7月の第1回例会日に、突然「10年間出席100%」ということで新会長から表彰された。わがクラブは発足以来17年間100%出席を続けているから別段珍しいこともないが、例年会員を表彰しているのもマンネリ化したというので「知性と友情あふれる楽しいクラブ」運動を提唱している新会長のニューアイデアの一つであった。私の賞よりずっと素晴らしかったのは、「5年間ホームクラブ100%出席」のY君の場合であった。なかなかできることではない。万来の拍手をうけた。

当276地区の65クラブ中、前年度一年間100%出席を完遂したクラブは14あったという。全国的にみて成績のいい方か悪い方なのか分からないが、これらのクラブは毎年100%持続組が殆んどで、会員の意気込みが伝わってくるようだ。

他クラブのメンバーが私に「大へんでしょ。窮屈じゃありませんか」というが、当事者の私どもには決して重荷にはなっていない。反って毎週の例会に顔を出すのが楽しいくらい。それでも新しい会員は、時には重圧と感ずることもあるようだが、1年もすれば、どんなにそがしい人でも、自分のスケジュールのなかへすっぽりと取り込んでしまえるようだ。

前年度R.I会長は「ロータリーを楽しく」といった。本年度会長は「ロータリーを高めよ、思いをつくし熱意をつくし」といっているが、これらは出席100%を促す原理ともいえる。すなわち楽しい会合だから大いに出てやろう、他人の迷惑にならぬようロータリーの良き運営に思いをつくせばよいからである。

ロータリー運営の根本は、会員の出会いから始まる。とにかく出席して顔を合わせなくては何も始まらない。ひとりひとりが黙って静かに孤立然と“奉仕”のことを思っても何にもならない。

特に戦後教育を偏頗に受けた一部の若きロータリアンにこのことは徹底させなければならない。

◇例会変更のお知らせ

名古屋東南RC 11/22(木)夜間例会の為、PM6:00より

◇次回例会(11月13日)

講演 “動物の夫達”

東山動物園園長

稲熊 興助 氏 (紹介 水野(民)君)

◇次々回例会(11月20日)

インフォーマル・ディスカッション・ミーティング
松楓閣にてPM6:00より